

〈十二月の言葉〉

西中 務 著 「争わない生き方」が道を開く より

「自分のなかにもある」

あなたには、苦手な人や嫌いな人はいるでしょうか？
ひとりやふたりはいるかもしれませんね。

では、なぜその人のことが苦手なのでしょう？

他人のあら探しが得意な人、

そして批判をしかかりの人がいます。

このように、人のことが気になったということとは、

自分が気にしていることだからです。

この人の嫌なところは、自分の嫌なところなんですね。

つまり相手を通して嫌な自分を見ているんです。

嫌な人が現れたら、思ってください。

「この人から、何を学べるだろうか？」と。

苦手な人は、あなたが変えられるきっかけを与えてくれる
大切な人物なのです。